

ATWUとは？

1. アイシン労働組合のあゆみ

1965年(昭和40年)2月、愛知工業(株)と新川工業(株)の合併発表が行われ、4月に両者の合併契約書調印がなされ、8月31日アイシン精機(株)として発足しました。

しかし組合員は、アイシン精機労働組合(愛知工業労働組合が新会社発足と同時に改名)と、新三労働組合の新川工業(株)に属する組合員になるため、両労働組合は会社合併と同時に組織統一について話し合いを行い、統一することが生活と労働条件の向上に結びつくと判断し、双方の執行部が結成準備委員となった。

この結果、企業別支部制という形で大同団結を図ろうとアイシン精機労働組合と新三労働組合は、発展的解散を決議し、働く者の大同団結を現実のものとする統一労組の結成大会を1966年(昭和41年)2月20日に開催し、アイシン労働組合は誕生しました。

2. アイシン労働組合 綱領

1. われわれは、強固なる団結のもとに労働基本権を守り、労働条件を維持改善し、併せて経済的社会的地位の向上をはかるため運動を推進する。
1. われわれは、近代的労使関係のもとに産業の発展と福祉国家建設のための運動を推進する。
1. われわれは、すべての労働者と、相互理解と信頼の上に提携して、一切の暴力と独裁を排し、民主主義を守る運動を推進する。
1. われわれは、あらゆる政治勢力および外部勢力の支配干渉を排除して、信義と友愛の精神のもとに、健全強固なる自主的民主的組織を確立し、運動を推進する。

3. アイシン労働組合のあり方

—組合員とその家族の幸せの実現をめざして—

アイシン労働組合は、「綱領」を原点とし、「組合員とその家族の幸せの実現」に向け、時代の変遷とともに活動を進化(あるいは深化)させてきました。発足当時とは社会環境、企業経営、組合員個々の意識・生活スタイル等、大きく様変わりしていますが、40年を経た現在においても、意義・目的は、組合員とその家族のくらしを守り、育むことを基本に、豊かなくらしを実現し、「アイシン労働組合に集う組合員ならびにその家族の幸せづくりをサポートしていくこと」であり、この想いは変えることのない、不変的なものであると確信しています。

アイシン労働組合は、この「組合員ならびにその家族の幸せの実現」に向け、一人ひとりのくらしを守り、そして向上させるべく、「組合員のくらしを応援する団体」としてあり続けます。

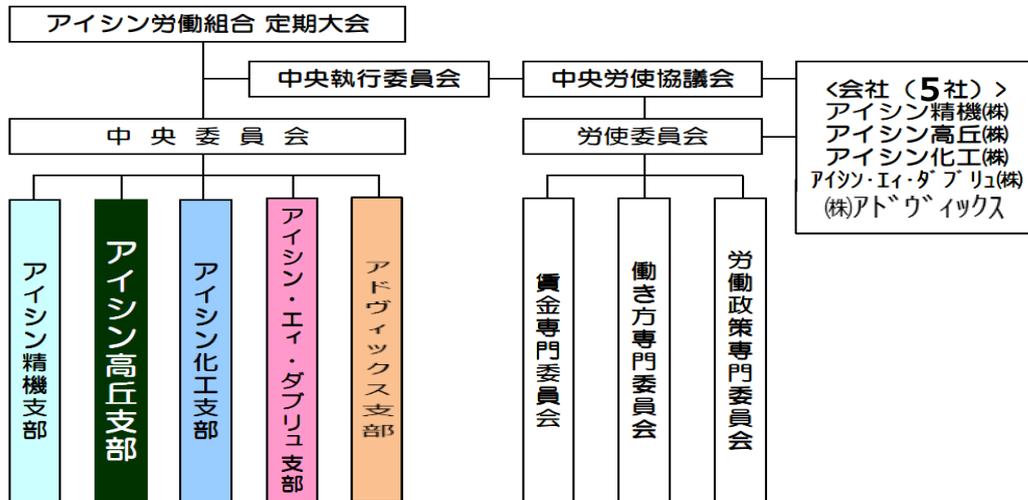
4. アイシン労働組合の基本的な考え方

アイシン労働組合は、組合員のくらしを応援する団体として、「会社生活」「家庭生活」「社会生活」の3つの枠組みに活動を整理し、この全てのステージが、バランス良く整った総合的な豊かさを追求する活動を推進していきます。



5. アイシン労働組合の組織

アイシン労働組合は5つの支部(アイシン精機支部、アイシン高丘支部、アイシン化工支部、アイシン・エイ・ダブリュ支部、アドヴィックス支部)から構成されており、一種の連合体祖組織である。組合活動様式を大別すると、基本時労働条件(賃金引き上げ、一時金、労働時間等)の取り組みについては本部の中で推進し、支部特有な諸種の労働条件等については各支部別の取り組み体制の中で推進しています。



〈アイシン高丘支部の組織〉

